発行所
福岡県遠賀郡水巻町役場
発行人　西尾　司
責任者　柴田　実
編集人　今井久之
印刷所
冷牟田印刷合資会社

念願の「愛の鐘」近く完成
―住吉氏現物を寄贈―

待れる十一月二十九日
非常災害時にも利用
場所は明神ケ辻山頂

「子どもよ、すくすくと伸びておくれ」限りない愛情をもつて、子どもをもつ親のだれもは、こう願わないことはないでしょう。しかし、やわらかい木の芽のような心をもつ子どもたちは、環境に支配され、善にも、悪にも染まりやすく、将来の明暗をいつしか決めてしまいます。

こうした子どもたちの感情を柔らぎ、特有の純心さを育て、正しい生活、よりよい環境をつくりだそうと、愛の鐘の建設はすすめられてきました。

そして、澄みとおる、リズミカルな「愛の鐘」は、近く全町に美くしく流れ、こだまし、町執行部が頭を悩ましていた青少年の不良化防止に一役かい、明るい町をつくり祝福していくでしょう。

「愛の鐘」建設委員会ができたことは、九月号の広報でお知らせしました。

その後、住吉鹿之助氏が、氏の還暦祝に、「愛の鐘」の現物を寄贈されることになり、明神ケ辻山頂（元杁高射砲陣地跡）に、関係地主の協力を得て、測量、架線工事も着々とすすみ「初のスイッチ入れ」は、氏が東京大相撲水巻場所を開らいての還暦祝の、十一月二十九日を待つばかりになっています。

この「愛の鐘」の建設場所については、建設の目的からも、全町のどこにでも聞こえるところをと、いろいろ研究の結果、当町中央部の高い、明神ケ辻山頂に決まり、十月二十四日の昼間（十四時から十六時）夜間（二十一時半）の二回に、無線機を使用して、三〇Vのスピーカーで、試験放送をしました。その結果、昼間は、いろいろな騒音のため、聞きとりにくい地域も一部ありましたが、夜間では聞きとれ、現在「愛の鐘」をもっている市町村と比べると、大体上々ということです。

「愛の鐘」が完成すれば、朝、昼夕、夜の四回に、メロディーが流れる訳ですが、ミュージック・チャイムの本機は、役場内交換室に取り付ける計画で、機械は十五日頃到着することになっています。

なお、「愛の鐘」は、当町多年の念願であったところの、非常災害時において迅速に情報を、あなた方え提供する放送設備にも利用することになっております。

▼曲目
朝―朝
昼―野バラ
夕―ふるさと
夜―トロイ・メライ

▼時間
四月から九月まで（夏時間）
朝―六時
昼―十二時
夕―六時
夜―九時
十月から三月まで（冬時間）
朝―七時
昼―十二時
夕―五時
夜―九時

寄贈者住吉氏談

「三十年の長い間当町にお世話になり、還暦を迎えるまで、元気に生きてきたお礼として、青少年の情操教育、不良化防止等に少しでも役立ち、皆さんから喜ろこんでもらえばと思ってのことです」

頃末小路線の道路復旧に着工

この程、頃末小路線の道路災害復旧工事にとりかかることになりました。これは、七月の豪雨によって、がけ崩れとなっていたもので先日国の補助金査定も通って、約二六万円の予算で、大盛組によって復旧にかかるものとなったものです。

解説

福祉年金の受付けを始めてから、二ケ月余りになりました。その間当町では二六〇件程受け付けましたが、見込み件数四〇〇余の半分でしかありません。資格についてのあらましは、九月号で説明しましたが、いろいろ誤解もあるようですので、部分的にもう少しくわしく説明してみましょう。

◆次のどれかに該当する方は請求ができません。

但し、これに該当しなくなれば、そのときから申請できます。

1　福祉年金額以上の公的年金をうけているとき

註（福祉年金額以上とは、老令年金では年一万二千円以上。障害年金は年一万八千円以上、母子年金は一万二千円にプラスの子ども二人目から一人について二千四百円以上をいいます）

註（ここでいう公的年金とは、恩給や厚生年金などのような法令で定められた年金をいうのであって、次のものは公的年金にはいりません。引揚者給付金。日本国有鉄道業務災害補償就業規則による給付金。市町村が支給する敬老年金。遺族援護法による弔慰金、外国から受ける外国年金）

2　監獄、労役場、その他これに準ずるような施設に拘禁されている間

3　少年院、その他これに準ずるような施設に収容されている間

◆次のどれかに該当する間は、請求の申請はできますが、福祉年金の給付はありません。

しかし請求申請の時効は五年で、五年をすぎると申請できません。そこで今のうちに、一応申請だけをすませて、次のことに該当しなくなったときに、すぐ年金の給付があるように、権利だけは確保しておいた方がよろしいでしょう。

福祉年金の誤解をとくために（一）

1　福祉年金を受ける人の所得が年間十三万円をこえるときしかし、義務教育終了前の子どもがあるときは、十三万円に子ども一人につき一万五千円をプラスした金額をこえるとき。

註（ここでいう子供は、福祉年金をうける人、または、配偶者の子どもをいい、子供の生活をみている場合です）

2　福祉年金をうける人の配偶者に所得税がかかっているとき。

3　福祉年金をうける人の、生活をみている人の所得税額が、年二万三千六百円以上であるとき。

註（生活をみている人とは、旧法でいう嫡養子、入夫婚姻を除いたところの養子や直系血族または、兄弟姉妹をいいます）

4　母子福祉年金の場合において年金をうけようとする妻が、夫又は三才以上の妻の子どもと共に生計をしているとき。

（つづく）

水利完備が今後の課題
火災防ぎょ検討会開く

十一月十日役場別館で、県消防災害課・当町消防団本部及び幹部の方が集まって「火災防禦検討会」を開らきました。

これは、先月の十三日と二十六日に、生協本部他、常盤区緑町などの火災に見舞われ、約六千万円の被害をうけたことから、当町消防体制について検討し、今後にそなえたものです。

検討会は、二つの火災当時の状況を想起して、五時間に亘って、あらゆる点から、詳しく研究討議されました。

力丸県消防災害課長補佐講評要旨

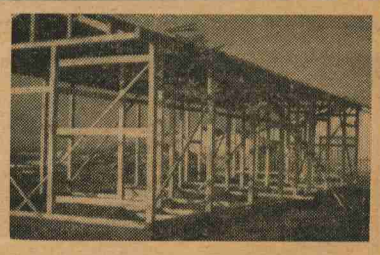
「生協本部の火災において、その消防方法は、理論と一致し成功である。しかし、水利の調査に一抹の不安がある。

常盤区の場合の消防方法も、当時の状況からして、守勢にたったことも、正しい判断である。

いずれの火災も、悪水利の中で、よく消火に成功されたことと思う。今後、水利の確保について、年次計画をたてて、一〇〇％の消防力を発揮されたい。

また、建物と建物の間が狭い、炭住建築も考慮の必要がある。

その他、予備隊の計画、町民をふくめた「町ぐるみ」の消防訓練なども必要だろう」



防火水槽・町営住宅建設の工事など着々すすむ

☆杁社宅、吉田区に防火水槽をつくることについて、九月号でお知らせしていましたが、近く完成するでしょう。完成すればこの水槽の容量は、どちらも四〇屯入りのもので、いざ火災というとき、水利の悪るいこの地域に、大役を果すでしょう。

☆公営住宅の建築工事も、槌音高く、着々と進み、二種住宅は棟上げも終りました。

☆吉田鯉口の車返線道路は、かん落でいたんでいましたが、その復旧工事も、近く完成することになっています。

また、頃末丸の東の排水埋立工事、頃末・古賀線道路災害復旧工事も、順調にすすめられています。

さて、あなたの家畜の重量は
―家畜計量施設が落成―

こうして、あなたの家畜の重量を正確に知ることは、家畜の飼育について科学的に検討することができ、また、家畜の売買のとき、相手のいうがままの重量で暴利をむさぼられていたことにも、正確な計量で売買できることになりました。

例えば、落成式当日、計り初めした牛も、目見当では「約三〇〇キロ「たろうといわれていたのが、実際に計ってみると「四五五キロ」もあって、約一五五キロも違い、大損をするところでした。

伊勢湾台風被災者への義金物資の受け付けは民生課で扱っています

頃末校六の四一同・梅見ミチ子（一礦桜ケ丘）・田代千鶴（古賀区六九棟）・杁校三の二一同・樋口区（代表柴田環）・杁校六の二一同・猪熊区（代表江藤昌喜）・二礦社員区（代表渡辺幸弘）・下二区（代表嶺武雄）・立屋敷（代表入江道彦）・中央区（代表西浦清彦）吉田一区（代表田中秀雄）

（十一月十日現在）

なお、義金は十一月三十日、物資は十月二十六日までにお願いいたします。

子どもの知恵の発育は姙娠三ケ月までが大切

手をつなぐ親の会総会

十二月六日（日）午前九時から、町民会館ホールで、手をつなぐ親の会の第一回総会が開らかれます。

これは、朝日新聞や、NHKの録音で、既に知っている方もあるかと思いますが、県下注目の当町特殊学級の成果報告がされます。

また「子どもを明るくすこやかに育てるためには」という題で、高木医学博士（九州厚生小児科部長）の、お話しもあります。

子どもの知恵の発育は、妊娠してから三ケ月までが、最も大切な期間ということで、すでに、子どもさんのある方は勿論、今から母さんになる方、結婚される方は、是非参加してもらいたいものです。

クリスマス・パーティを開きます

十二月二十日午後五時から町民会館ホールで、クリスマス・パーティを町公民館と町青協の主催で開きます。会費は一人百円です。

なお、毎週水曜日午後六時三十分から、同ホールで、フォーク・ダンスの会をやっています。

生活の合理化はメートル法から

大正十年以来、実に三十七年の間、混乱を続けてきたわが国の計量単位も、ことしの一月一日からメートル法一本に統一され、メートル法を使用しないときの罰則も、十一月二十日から適用されることになりました。

こうしたメートル法は、ともすれば繁雑になる近頃の生活を、少しでも合理化しなければならないということから実施されたものです。

私たちの一日に、欠くことのできない「長さ、重さ、広さ、立積」の計量単位は実に複雑で、尺貫、メートル、ヤード、ポンドと、あらゆる計量単位が使用され、メートルを尺に、貫をキログラムになおす手間も大変なものでした。

しかし、現在の科学技術、産業経済、生活様式は、急速な発展をしています。

こうした時に、今までのような複雑な計量単位でよいでしょうか？これで社会の急テンポな発展についていくことができるでしょうか？もっともっと合理化する必要はないでしょうか？

こうしたことから、もっとも簡明でスッキリしたメートル法がとりあげられ、全面的に実施されることになった訳です。

ところが、北九州地区は、尺貫法へ逆行しているそうです。そこで、当町ではどうだろうか？と聞いてみました。

頃末のある八百屋さんは、「卸しの方は早くからメートル法になっているし、お客さんが馴れてくれば問題のないことです。

近頃は、お客さんも馴れて、百グラムがどれだけの量かも、大体判ってきたのではないでしょうか。

しかし、立積の方は、リットルよりもまだまだ升の方がよいようです」

またある八百屋さんは、「近ごろは匁よりもグラムの方がピンときます。百グラム単位で売ると、お客さんも買いよいし、売る方も面倒な計算をしなくてすむようになりました」と、八百屋、魚屋、菓子屋さんは順調にいっているようですが衣服関係では、尺貫法のなごりが強く、さようならすることも難かしいようです。ある洋服仕立屋さんは「私たちは、昔から鯨尺で仕立てを覚えてきましたし、換算しながら仕立てをするのは、全く骨の折れることです」といっていますし、衣料品店でもあるお客さんは、「メートルで買った反物の長さを、再びヤールで目換算しているようですね」といっています。

こうしてみると、まだまだメートル法は、完全にということはいえないようです。しかし、生活のすべての中で、計量単位を始めから習う心がまえで、メートル法しか使わないことにしたら、もっともっと早く馴れるのではないかと考えます。

防火には私もあなたも責任者

11月26日から12月2日まで防火週間

再び、生協、常盤区の火災をおこさないよう火の始末に充分注意下さい

無料調停相談室

☆いろいろのもめごとはまず調停で……☆

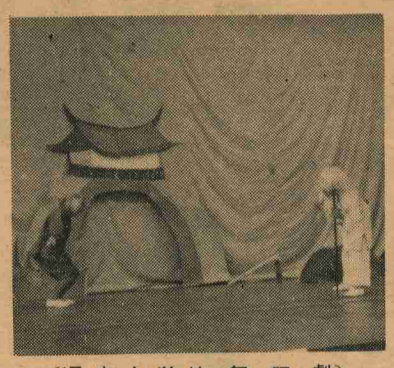
とき	12月5日10時から17時
ところ	町民会館
担当	弁護士 調停委員

11月27日9時から1時まで

メートル法完全実施の立入検査をします

メートル完全実施　11月27日

秋を彩る水巻まつり



（頃末小学校　舞踊劇）

（下二小学校　絵本太閤記）

水巻まつりの行事は、11月1日の謡曲大会、弓道大会を皮切りに、文芸スポーツ、少年・一般の芸能など紺青の秋にそえて、あと、農民祭を残すだけになりました。ここには、今までにあった行事の中から、部分的ながらカメラで拾ったものを紹介します。

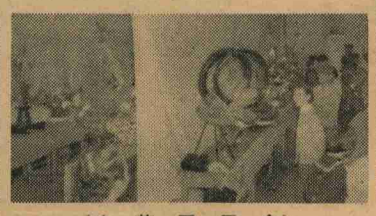
（南中合唱）

（梅ノ木青年会　天狗女房）

（仕舞）

（一般芸能　琴と尺八）

（絵画展示会）



（生花展示会）

（一般芸能　日炭労組楽団演奏）

文化の日に輝く表彰者

学校教育功労者表彰に三教諭

石松　敦先生（写真一番右）
（現　水巻中学校教諭）
小林和弄先生（写真右から二番）
（現　下二小学校教諭）
石田静子先生（写真右から三番）
（現下二小学校教諭）

以上の三先生は、十五年以上当町の学校で教鞭をとられ、国民教育の基礎である義務教育の推進と、地域社会の育成に努められ、当町の教育振興につくされたので、当町教育功労者表彰規則によって表彰されたものです。

社会教育功労者として三浦政勝さんを表彰

三浦さん（片山区月見町）は、片山区公民分館の役員を永年勤められ、その間に、子供会の育成や、区の防犯協会の結成や、少年相談所をつくったりして、学生児童の不就学や不良化防止に努められ、そして、その活動を八ミリフィルムにおさめて上映し、明るい地域社会の建設につくされたものです。

なお、三浦さんは、ことしの七月頃に、明るい社会建設功労者として、東京朝日新聞社からも表彰されています。（写真左）

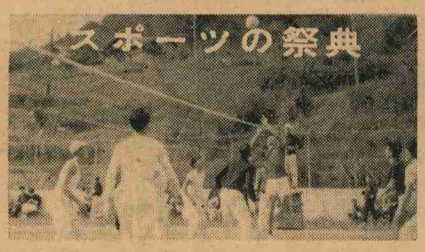
少年善行者表彰に実淵春子、前田久美子さん

実淵　春子さん（頃末校六年）
前田久美子さん（〃　）

七月号の当広報で、二君の善行をお知らせしましたとおり、社会科で相互扶助の精神を教えられると、毎日小使銭をためて、困っておられる方にあげて下さいと、社会福祉協議会に届け、社会生活にその学習を実践されたものです。

七月の水害時に、筏にのって給食などした吉田一青年会に、町長から感謝状が贈られました。

スポーツの祭典



弓道大会

（有段者の部）
❶永尾　豊明　❷本田　幸逸　❸和田　弘晴
（無段者の部）
❶本田　猷　❷塩川　輝明　❸飯尾　克巳
（金的賞）　本田　猷

少年まつり相撲大会

（小学校団体）
❶下二小学校（島田、岡本、宮本小田、木幡）❷猪熊小学校
（小学校個人）
❶小田修二❷宮本広光❸木幡茂❹岡本英一（いづれも下二小）
（中学個人）
❶中園康雄❷小田鶴久❸池田英喜❹吉留誠（いづれも南中）

庭球大会

（一般）
❶田辺・中野組❷稲増・稲増組❸松原・藤崎組❹桃野・吉岡組
（中学男子）
❶藤崎・宍井組❷船津・市松組
（中学女子）
❶太田・野中組❷平山・名越組

卓球大会

（団体）
❶水巻町役場（今井・古海・山本・森田・宰井）❷高尾区❸湿雅荘
❹吉田一（これで役場は三連覇）
（一般男子）
❶福島光憲❷山本倫太郎❸田中玄三雄❹今井久之
（一般女子）
❶松尾妃佐子❷宰井弓枝❸村上キミヨ❹井料スミ子
（中学男子）
❶団野忠則❷行徳信義❸三宅義明
（中学女子）
❶実淵スミコ❷名久井愛喜代❸高島宣子

排球大会

（男子の部）
❶古賀区❷鯉口区
（女子の部）
❶浅川A❷鯉口区

駅伝大会

❶吉田区1時間12分56秒❷片山区❸鯉口区❹浅川区
（なおオープンで参加した町部チームは1時間12分でした）

入選作品

▽小説の部

一席「無医村」　山口　紫香（机）
二席「慟哭」　入江　利治（吉田区）

選評　劉　寒吉先生

応募篇数は少なかったが、今回の小説の部に「無医村」を得たことはうれしかった。その他の作品にも、力のこもったものがあったが、「無医村」は筆力が充実していて抜群の出来栄えだと思った。

「無医村」は題名の示すとおりに医師もいない片田舎の出来事をかいた小説である。無知と因習の中に死んでいく農家の若い嫁の悲しみが読む者の胸を打って、迫力のある作品を成している。医師と嫁の実家の母との憤りが共感を伴って、読みながらやりきれない思いがした。

この作者は也一つ「書けない小説」というのを寄せているが、なかなか書けるひとである。「書けない小説」というのは小説をかくひとの独白の形式になっている。生活と文学との間をうろうろするせつない気持はよくわかるが、いささか自意識が溢れすぎた感じでそのためにかえって切実な思いが減殺されている。

二席の「慟哭」もよくまとまっている。ただし、やや筆不足なところがあって、純情な主人公の気持はつつくしくかけているが、相手の多恵子の心理がよくわからない感じである。親しく交際していた主人公にたいして、なぜ急に冷淡になったか、何度も逢瀬の約束をやぶるのはどういう理由からなのか、この説明がないと「慟哭」のテーマが生きて来ない。これだけでは、ただ主人公のひとり相撲に終った感じである。

「次点者」（末藤敏治）は小説をまとめるために、もう一段の努力が必要なようである。滝岡という青年と優子との恋愛に、滝岡の叔父の選挙がからんで、かなり大がかりな筋だが、これだけでは筋だけのものでしかない。ことに終末近くになってクローズアップされる節子という女性の正体、特に滝岡との関係がはっきり説明されていないために、モヤモヤした小説になってしまった。

「太陽の天使」（米岡康寛）は映画のストーリーをかいたつもりなのだろうが、話が飛躍しすぎてひどく読みづらい。小説としてまとめるためには、もうすこし小説勉強をしなければならない。なによりも、いい小説をうんと読むことである。

▽自由詩の部

選評　石井章先生

一席「キャベツ」　末次　澄子（古賀）

評　鮮明、潤沢、しかも詩の細かい線が見えている。

二席「赤ん坊の眼」今井久之（下二町住）

評　達者なところがある。希望のない現代の若者をシンボライズしてよくかかれている。但し「赤ん坊の眼」はもっともっと強い輝きをもっているはずだ。

三席「ぼた山」米岡康寛（樋口）

評　ぼた山の中から良質の無煙炭を掘り出すように同氏の他の作品の中ではこれが光っていた。

佳作「コロ」今井愛子（下二町住）

評　素直な作。詩はどういう素直さから入っていくものと思う。

▽短歌の部

選者　石井　章先生

秀逸　病む妻の好物もとめ今夜また枕辺におきて弱気はげます
今井　久之（下二町住）

秀逸　何一つ国に報ゆる術もなくいと面映ゆき古稀の年哉
森　吉洲（伊佐座）

秀逸　稲葉吹く秋風すがし河原辺に破蹴子洗う声の遥けさ
川口喜美子（古賀区）

秀逸　入坑の友に手をふりよこれたる作業服にも一服の煙草
今井　久之（下二町住）

▽俳句の部

選評　河野静雲先生

一席
日と月の玄海灘に河豚を釣る
田中　博幸（下二町住）

評　大空に日輪が懸り且昼の月が夢の如く白く懸って居る。うら晴れた冬凪の海上に舟をうかべて河豚を釣って居る。人の気持とその景色が気持よく詠出されて居る

二席
撃ちし鴨ぶらさげて乗る鵠珂渡舟
川口　虎月（古賀区）

評　撃ちとめた獲物の鴨をぶらさげて戻り路の渡舟に乗ったといふ句意、座五の鵠珂渡舟が、景観を大きな感じあるものにして居ると共作者のその時の颯爽たる気持を伝へて居る

三席
爽やかに讃歌聞ゆる炭の町
下貞　拘石（吉田区）

評　炭の町に讃美歌が聞えて居たといふ平穏な爽かさを偲ばせる句

佳作　再起の鎌しかと提げ露払ふ
岡部　霧村（吉田三）

佳作　毛糸編む子等の話に耳かして
川口喜美子（古賀区）

農業委員会委員の選挙人名簿をつくります

ことしの、十二月一日現在で、農業委員会委員選挙人名簿を作りかえます。

そして、この選挙人名簿は、来年で任期が満了する委員の、選挙に使われることになります。

この名簿に、もし登載されなかったら補充名簿の制度がなく、翌々年の三月四日までは、全く選挙権がないということにもなりますので、次のことに注意して申請下さい。申請の用紙は、生産組合長にあります。

▼資格のある人は、ことしの十二月一日現在において、当町に定住し、昭和十五年三月六日までに生れた人で、次のどちらかに該当する人（外国人も含む）

1　一反歩以上の農地につき、耕作の業務をしている人、即ち農業経営の経営主です。

2　この農業経営主の同居の親族または配偶者で、年間おおよそ六十日以上耕作の仕事に従事している人（こゝで親族とは、六親等内の血族、配偶者または、三親等内の姻族ならびに血族、姻族の配偶をいいます。また、配偶とは、内縁関係を含みません）

▼申請書の提出は、十二月五日までに、生産組合長あてにだして下さい。

御紹介

先日、当町社会福祉協議会の事業資金にと、
宮田　弘さん（頃末社宅）から亡母ユキさん
芳沢富美子さん（古賀区）から亡夫重則さん
上坂マスミさん（緑野社宅）から亡夫竜男さんの葬儀香典返しを、それぞれ寄附いたゞきました。皆さんに御紹介いたしますと共に、故人の御冥福をお祈りいたします。